



一人一人が イキイキと活躍する社会への第一歩

アンコンシャス・バイアスは、日本語で「無意識の偏った思い込み」のことです。過去の経験や見聞きしたことに影響を受けて自然に培われていくため、善しあしはありませんが、そこから生まれた言動が知らず知らずのうちに相手を傷つけたり、キャリアに影響を及ぼしたり、自分自身の可能性を狭めてしまうなど、さまざまな影響があるため注意が必要です。

皆さんは、「親が単身赴任中です」と聞いて誰を思い浮かべますか。「父親」と思う人も多いかもしれませんが、「単身赴任をするのは普通父親だ」という思い込みに気付かず、単身赴任の母親に対する「母親なのに単身赴任？ お子さんかわいそうね…」との言葉が母親や家族を傷つけることがあるかもしれません。

ー アンコンシャス・バイアスへの気付き ー

「普通そうだ」「こうあるべき」「どうせ無理だ」と頭ごなしに決めつけないこと、相手を尊重する心の姿勢を持つことが重要です。また、急に表情が曇った、声のトーンが変わったなど相手の表情や態度の変化に気付いたなら、自分の言動で相手の心に残った後味を濁さないようにフォローを心掛けてください。

アンコンシャス・バイアスの正体は「自己防衛心」です。脳が無意識のうちに自分にとって都合のよい解釈をすることによって起きています。自然の摂理であり、完全に払しょくすることはできないからこそ、一人一人、その時々と向かい合いアンコンシャス・バイアスに気付こうと意識することが大切です。

ー内閣府月間総合情報誌「共同参画」5月号より編集

みんなで学ぼうじんけん

生涯学習課 ☎32-1934

ひろみち
本田博通地域人権教育指導員が学校で働いていた経験などから「じんけん」の今をお伝えします



みかんを食べさせてあげたこと ー前編ー

「夕刊にコラムを掲載することになりました(笑)」。自称、足でハンドル操作のできる改造普通車に乗る全国初のドライバークンと哲ちゃんからメールが届きました。「講演で小学校を訪れると、子どもたちはざわつきます。「変な人」「ヤバくない?」。発語にもマヒがある私が「こんにちには」とあいさつすると、びっくりした表情を見せ、笑顔で入っていくと後ずさりします。「僕を見てどう思う?」子どもたちは「手が曲がってる」「怖い」と大人なら言わない感想をぶつけてきます(4月2日熊日)」。これを読んで私は以前、哲ちゃんを呼んだときのことを思い出しました。

宇城の小学校、人権週間の講話です。集まった全校児童の前で、哲ちゃんが足で缶コーヒを開けて飲み、バッグからケータイを取り出してかけてみせます。静まり返っていた体育館に歓声が湧きます。パフォーマンスをしながら、語るメッセージは「できないことは、恥ずかし

いことではない」。話を聞くだけでなく、生活の匂いにする出合いの場を子どもたちにと、彼を給食へ誘いました。その時の子ども(小3)の日記です。

『みさき君がシチューをすくって、倉田さん哲ちゃんに食べさせていました。みさき君は顔が少し赤くなっていました。席についたら、先生とビビツとし線が合って、やばいなとし線を落としたけど、先生は「あやのさん、倉田さんにミカンを食べさせてみんね」と言われました。やっぱりきたかと思いましたが、倉田さんの横にすわりました。手がふるえて皮が上手にむけません。一こ取ると、口へもっていききました。倉田さんは「あー」と口をあけました。だいたいじょうぶかな、落とさないかなと思っていたけど、食べさせている間にドキドキがなくなってきました。全部食べさせた後に、わたしはほっとして力がぬけてしまいました」

素直な感想を書いてくれたこの子は今は二人の子どものお母さんになっています。彼女のこの経験、実は私が出会ったことでもありました。(次号へ続く)



SMS(ショートメールサービス)で届く 携帯電話業者を装ったメールにご注意

事例

- 電話料金の支払いが確認できない。下記のURLに連絡を。
 - アカウントが不正に利用されたので下記のURLからご確認ください。
- と、携帯電話業者からSMSが届いた。

SMSで利用料金の未払いや不正利用の確認をすることはありません。記載されたURLにはアクセスしないでください。万が一接続しても、それだけでは契約は成立していないので高額な請求に応じる必要はありません。また、消費者の不安をあおるような内容であっても、一度落ち着いて家族などに相談しましょう。

相談は 宇城市消費生活センター ☎33-8277 へ

郷の記憶をたどる

文化振興課 ☎32-1954

私たちが暮らす宇城市の郷土にまつわるさまざまな文化の魅力を発信します

シリーズ展示 ー郷土の人ー 現代図書館の父 秋岡 梧郎



郷土資料館では、郷土にゆかりのある人物を1年ごとにシリーズで紹介。現在は、現代図書館の父「秋岡梧郎」について展示しています。

秋岡梧郎は、1895年、下益城郡豊福村(現在の松橋町豊福)に生まれました。八代中を卒業後、高等小学校の代用教員として勤務。24歳の時に、下益城郡教育会で新たに建設される明治文庫(図書館)の司書として、図書館創設を任されました。



保険料に月400円プラスして納付すると 年金が上乗せされてもらえます

老齢基礎年金に上乗せできる付加年金。これは、自営業者、学生など国民年金第1号被保険者独自の給付です。

10年間納付すると
毎年24,000円がプラスに

計算式

保険料 400円×120月=48,000円
年間付加年金額 200円×120月=24,000円
(200円×付加保険料納付月数)

2年で
元が
取れる

- 翌月末日の納期限を過ぎても、期限から2年間は保険料を納めることができます。
- 申し込んだ月から納付できます。
- 国民年金基金に加入中は保険料を納付できません。
- 保険料は定額のため、物価スライド(増額・減額)はありません。

日本年金機構
ホームページ



郷土資料館



開館時間 10時～17時
休館日 月・木曜(祝日の場合はその翌日)
住所 豊野町糸石3818 ☎45-2102

1921年に上京後、文部省図書館員教習所の1期生となり、本格的に図書館員の道を歩き始めました。

その後は、日比谷図書館や京橋図書館など東京都内の数多くの図書館で館長を歴任。利用者の視点から図書館運営を行い、日本の図書館の発展に大きく寄与しました。

この展示では、明治文庫の図書の現物も一部配置し、来年3月末頃まで秋岡の功績を詳しく知ることができます。

皆さんも郷土資料館で、郷土の人について調べてみませんか。ご来館お待ちしております。



秋岡 梧郎